



晴れやかに華やかに（成人式）

広報



Contents

若狭町成人式	・・・ 2
まちの話題	・・・ 4
町長随筆、クイズ	・・・ 6
3歳で～す、文芸	・・・ 7
情報BOX	・・・ 8
すまいる	・・・ 11
シリーズ「キラリ保育」	・・・ 12
確定申告	・・・ 14
暮らしのカレンダー	・・・ 18

2

2011
No. 70

祝

成人式

Take a Great Leap Forward
199人が新たなステージへ翔ける



▲ 森下町長の前で「新成人誓いの言葉」を述べる新成人代表・千田育里さん（鳥浜）

－ 新成人誓いの言葉（要旨） －

選挙権を得る私たちは社会にも積極的に参加し、また、伝統を尊重しつつ、新しい発展へ互いに切磋琢磨しながら、これからの難局を乗り越えていきたいと思っています。

これまで私たちは、両親をはじめ恩師や地域の方々から温かく見守られながら育ってまいりましたが、本日を機に一人の成人として広い視野を持ち、自覚と責任、そして、日々感謝の心を持って行動していくことを誓います。

新成人の志



小林 健太郎さん
（日笠）
大阪でプロボクサーをしている。春からの試合で優勝し、日本ランキングに入るのが目標。



井ノ口 真矢さん
（井ノ口）
失敗してもくよくよしないて明るく笑顔でがんばっていきたい。向上心を持ってたらいいい。

1月9日、パレア若狭で「平成23年若狭町成人式」が開催されました。

今年は、昨年より21人多い199人が対象。新成人は、ふるさとに誇りを持ち、地域発展のため努力していく決意を新たにしていました。

式典のあと、実行委員会主催の「新成人のつどい」が開かれ、新成人は級友や恩師との再会を喜び合いました。



恩師と記念撮影



恩師と再会



次世代はまかせて



小原集落近くの田んぼに
飛来したコウノトリ
(昨年12月)



コウノトリ（国の特別天然記念物）が生息するには、良好な自然環境が必要で、自然の豊かさの指標となる鳥といわれています。また、「赤ん坊はコウノトリのくちばしで運ばれてくる」とか「コウノトリが住み着いた家には幸福が訪れる」という言い伝えもあります。

若狭町では、昨年9月と12月以降、コウノトリ5羽が確認されています。良好な自然が残されていて、餌場やねぐらがあるからだといわれています。

新成人の皆さん・・・コウノトリのように自然豊かな若狭町に住み、町に幸せを運んでください。



岡 諒亮さん
(館川)

自立することが目標。知らないことも多いので、自分で調べて自分で考えて行動する。



赤尾 侑美さん
(田井野)

音楽の先生の免許を取るために勉強中。成人をきっかけに言動に責任を持ちたい。



岡本 智里さん
(安賀里)

「頼ることは強さで、頼り切るとは弱さ」という言葉が好き。自立に向け、がんばりたい。

まわりの話題

※広報紙に「あなた」の写真が写って
いましたらご連絡ください。
写真をさしあげます。
(企画情報課 TEL45-9110)



防犯サンタ

(12/22)

防犯組合若狭地区連合会上中支部の会員らが三宅保育所を訪れ、サンタクロースに扮して防犯を呼びかけました。

子どもたちを犯罪から守る取り組みとして、年末年始の犯罪が多いこの時期に支部内の保育所を毎年1か所ずつまわり、実施しているもの。

今回は、保育所のクリスマス会と合同で開かれ、3人のサンタと県警察のマスコット「リューピー君」が登場。

園児たちは、「知らない人についていかない」「連れて行かれそうになったら大声を出す」など犯罪を未然に防ぐ約束を交わしていました。



▲サンタに絵本を読んでもらう園児



▲佐久間記念交流会館を見学するサポーター



町を全国にPR

(1/6)

若狭町を全国にPRしている「若狭町ふるさとサポーター」1期生が、新たな町の魅力を発見するため、町内の観光施設などを訪れました。

この日訪れたのは、石川県や愛知県、京都府に住む若狭町出身の大学生3人。サポーターらは2日間かけて、若狭瓜割名水公園や熊川宿などの観光名所を見てまわり、常神半島の民宿に宿泊し冬の海の味覚を味わいました。

参加したサポーターは、「ふだん、名刺や特産品を配ったりして町を宣伝している」「今後は、ツイッターで若狭町をつぶやいてPRしていきたい」と話していました。



▲上中消防団
一斉放水



▲三方消防団分列行進



出初式

(1/8・10)

三方消防団、上中消防団の新春恒例の出初式が行われました。

上中消防団出初式には消防団員・上中分署職員150人が参加。パレア若狭駐車場などで一斉放水や分列行進などきびきびとした動作を披露しました。

また、三方消防団出初式には消防団員・三方消防署職員150人が参加。はす川で一斉放水したあと三方庁舎前道路を分列行進しました。

三方、上中それぞれの消防団員らは真剣な表情で式に臨み防災への決意を新たにしていました。



写真が語るふるさと (1/9)

今では見られなくなったふるさとの懐かしい風景や暮らしの写真を展示する「あの頃の風景と暮らし」展が昨年に続き、歴史文化館で始まりました。

この展示は、住民の皆さんからお寄せいただいた町内の懐かしい写真を紹介するもので、今では見られなくなった古き良き風景や建物、産業や暮らしの様子を見ることができます。

町では、このような歴史を物語る貴重な写真を通じて、当時の様子を語り継ぐきっかけとなることを期待しています。この企画展は3月末まで開かれ、引き続き懐かしい写真を募集しています。



▲懐かしい写真を見る来館者



▲掛け声とともに大綱を編む男衆



綱打ち神事 (1/9)

有田の斎神社で、わらで大綱を編む伝統行事「綱打ち神事」が行われました。

この行事は、百年以上前、豪雨で近くの川に流されていた御神体をにわか仕立ての大綱で引き上げた言い伝えに基づくもので、町の無形民俗文化財に指定されています。

この日の神事では、神社に集落の男衆が集まり、「きりっとせい」などの掛け声とともにわらにヨリをかけ、約4時間かけて長さ15m、太さ30cmの大綱を編み上げました。

その後、若者がこの大綱をかついで集落内を練り歩き、拝殿に奉納しました。神社総代の大田正福さんは「集落の安全や区民の健康を願う行事。これからも伝承していきたい」と話していました。



交通安全祈願 (1/12)

気山の宇波西神社で、若狭町交通安全祈願祭が行われ、交通安全協会、警察署員など関係者約30人が出席し今年1年の交通安全を願いました。

祈願祭では、若狭交通安全協会上中支部の田中敏和支部長が「昨年、町内では1名の方が交通事故の犠牲となった。今後も交通情勢の安定と正しい交通秩序の確立に努め、交通事故のない安全で安心して暮らせる町となるよう交通安全推進の責務を果たしていく」と誓いの言葉を述べました。

続いて、町内9,193人分の「交通ルール遵守・マナー向上署名簿」を奉納し、出席者とともに交通事故撲滅を祈願しました。



▲誓いの言葉を述べる田中支部長

きずな

絆

～対話と実行～

若狭町長 森下 裕

「まちづくりへの思い新たに…」

わたくしは就任以来、政治信条に「対話と実行」を掲げ、「みんなで創るみんなのまち」を標榜して、住民と行政との協働によるまちづくりを進めてまいりました。本年も町民各位のご理解をいただきながら、より一層強力に推進していきたいと思っています。

今、町では、これからの社会情勢の変化に迅速に対応するため、町の指針となる現行の総合計画の後期計画の部分の見直しを進めております。

本計画は、今後のまちづくりの指針と位置付け、基本理念の「再生」の概念を尊重するとともに、町の課題に対応し、固有資源など魅力を活かした内容とし、名称も新たに

「若狭町まちづくりプラン」として、4月からスタートさせたいと考えています。

策定に当たっては、「住民意識調査」や、身近な課題や問題点を解決する手段を皆さんの総意で策定いただいた「集落計画」や「地区計画」の内容の検証を行なうなど、多くの住民や地域の声が反映するように努めてまいります。

去年は、梅の里保育園の移転新築や佐久間記念交流会館のオープン、また三宅小学校・熊川小学校の耐震補強とリフレッシュ工事、三方中学校のエコ改修など、以前から望まれていた施設整備の完成をみることができました。

今後も社会情勢や財政状況を見極めて、総合的・計画的に事業を進めたいと思っています。

近年では、少子高齢化が進

み人口の減少に伴う空き家の増加や産業の衰退が懸念されるなど、町を取り巻く情勢も大変厳しいものがあります。

しかし、町は人が集うことでより元気になるものです。また、人が行き交うことで産業や文化や人の輪、絆が育っていくものです。

「豊かな自然、歴史や文化、その恵みのもと、多くの人々が交流し、絆を深めることにより"育むよろこび"があふれ、共に生き、共に感じるまちをめざします」これが今後のまちづくり目標です。

住民の皆さんと共に手を取り、助け合って次の世代を担う子どもたちに自信をもって引き継げるまちづくりを進めたいと決意を新たにしていますところ です。

住民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

広報クイズ

しりとり
うずまき
クイズ

■応募方法■

キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。4つある赤いマスの文字を並びかえると、答えになります。ハガキに答えと広報紙の感想や意見、住所、氏名を書いて、「〒919-1393 若狭町企画情報課」（住所は省略可）まで送ってください。E-mailでも受け付けます(kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp)。正解者の中から抽選で5人に図書カードが当たります。当選の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

締切 2月15日(火) 必着。

◇キーワード◇

- ① 2月11日は〇〇〇〇記念の日。
- ② 北方領土のひとつ、なんと読む？「国後」
- ③ request と書く。希望や要望のこと
- ④ すきとおって向こうがよく見えること
- ⑤ 昔話で、背丈の小さな主人公が鬼退治をし、出世する話
- ⑥ 魚介類や海藻など海産物を主とする食品。また、それを使った料理。
- ⑦ 輪形などにして油で揚げた洋菓子
- ⑧ 大阪のシンボルである展望タワー
- ⑨ 化粧のために唇に塗る紅
- ⑩ 夕日の見える方角を

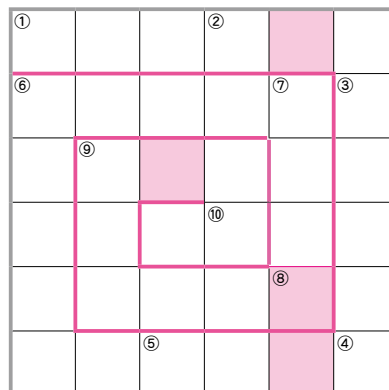


◀◀◀携帯でアクセス
メールでも応募してネ

【ヒント】

有田集落に伝わる、わらで編んだ大綱を奉納する神事。

《答え》 〇〇〇〇神事



HAPPY BIRTHDAY

3歳です

このコーナーでは、2月に3歳を迎える町内にお住まいの男子・女の子に登場していただいています。ご応募いただいた方のみ掲載しています。

今回は平成20年2月生まれの3歳になるお子さまです。



小堀 あんじゅ 杏珠ちゃん

2月18日生まれ（北前川）

親：憲一・絵美さん

ぐわいじゃー大好き！
へんしんポーズはまかせてね！



橋本 さき 咲妃ちゃん

2月19日生まれ（安賀里）

親：友寿・美奈さん

ケンカもあるけど お姉ちゃん
大好き♡ いつもありがとう！

絆・クイズ
3歳・ニッセ

今回は平成20年3月生まれのお子さまが対象です。
写真と25字以内のコメント、生年月日、ご両親のお名前、連絡先を添えて企画情報課または住民サービス室へ提出してください（メールでの送付も可）。

2月5日（土）必着です。

●問い合わせ 企画情報課 TEL 45-9110
電子メール：kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp（受信確認のため、必ずお電話ください）

文芸ひろば

冠句

若狭町冠句の会

波の詩風に音乗せ句い乗せ
てつきりと稔りは汗と陽の所産

大上 仙路（三田）
江南 とわ（田名）

川柳

ほつと川柳

猫の目と時代の変化くるくると
髪型に変化をつけて若返り

中塚よしゑ（脇袋）
西 治子（堤）

川柳湖畔

安物の印鑑おもい罪づくり
耳打され胸ときめいて冬の夜

井口 善弘（田井）
今川てる子（鳥浜）

短歌

上中短歌会

長引ける不況に傾く製材所
二台の重機に毀されてゆく
亡き嫁の代わりに我を頼りしか
健康のお守り男の子がくれぬ

井上 弘子（下タ中）
桑原 寿美（兼田）

かをり歌会

雪吊りの縄も新し庭木々は
冬の粧ひ整ひにけり
一枚となりて残りしカレンダーも
思ひ出連れて彼方へ消えぬ

中村りゑ子（気山）
今井登代子（佐古）

俳句

やよい俳句会

マニキュアの指で破魔矢を渡される
抱きたる子の手に破魔矢鈴光る

原田 自然（大鳥羽）
松宮 紅雲（大鳥羽）

源流・つくし俳句会

澄む水の山を動かす池の鯉
拍手をかへす木霊や秋祭

辻本 靖（兼田）
田中 喜良（神谷）